

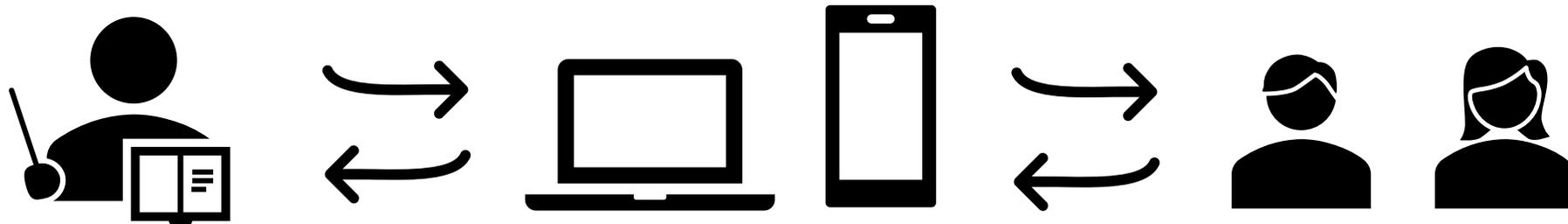
はじめてのオンライン授業

東京都立大学 大学教育センター 情報教育部門



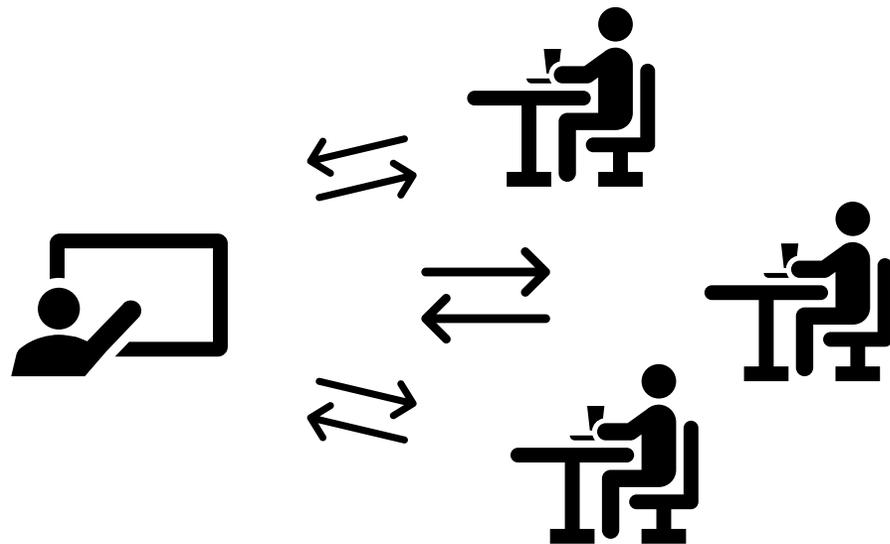
オンライン授業とは？

- 対面で行っていた同期型の教授・学習活動を**オンライン**で実践すること
- 教員および学生は、コンピュータやタブレット端末、スマートフォン等の**デバイス使用**が前提となる

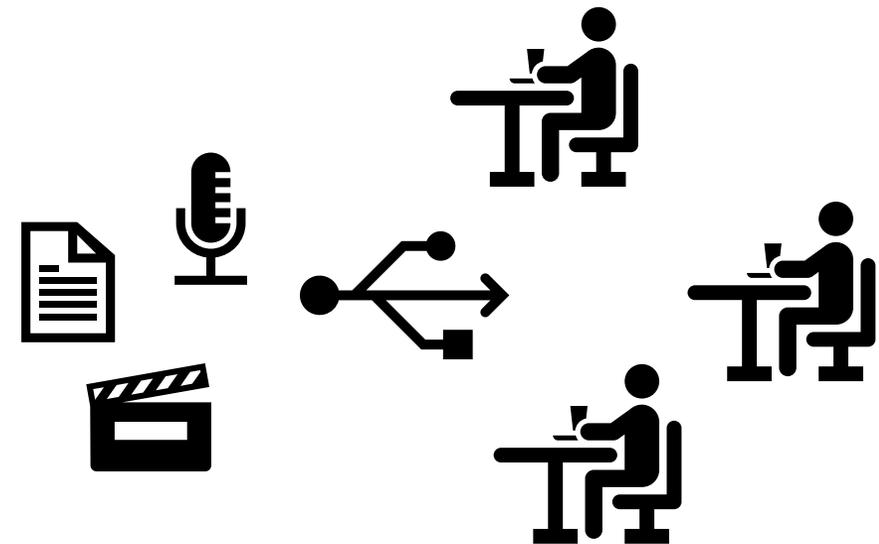


オンライン授業の種類

- 授業を**同期・非同期**のどちらで実践するかによって、大きく2つに分けられる



同期型オンライン授業
(リアルタイム授業)



非同期型オンライン授業
(オンデマンド授業)



オンライン授業の種類

① 同期型オンライン授業（リアルタイム授業）

- Zoom, Google ハングアウト, Skype, Cisco Webex等の**Web会議システム**を活用し, 教員と学生が**リアルタイム**で授業に参加する形式
 - 各システムの利用方法は, 提供元のウェブサイトで確認できる
 - 参加者のネットワーク環境の整備と質が求められる
- テキストチャットや音声通話により, **双方向の同期的なやりとり**が可能
 - 問いかけと応答, 発表と議論を含む授業に適している



オンライン授業の種類

② 非同期型オンライン授業（オンデマンド授業）

- テキスト，スライド，音声，動画等のコンテンツをオンラインで公開し，学生が**自分のペース**で閲覧・視聴する形式
 - 教員が作成した資料は，各大学のeラーニングシステム（本学では [kibaco](#) ）にアップロードできる
 - 既存のWebサイトや動画教材（OCW，MOOC等）へのリンクを貼ることもできる
- テストやレポート課題の採点，掲示板での議論を通じた，**非同期的なフィードバック**が可能



オンライン授業を実践するためには？



目標を設定し、**活動**の構成と**評価**の方法を考える

- 学生に**何を**学んでほしいのか
基本的な知識の習得（理論・概念の理解），知識の応用（思考力・問題解決力の獲得） …
- 学生に**どのように**学んでほしいのか
テキストやスライドの読解，音声や動画の視聴，リアルタイムでの問いかけと応答，発表と議論 …
- 学生の学びを**何で**測るのか
小テストによる理解度の確認，レポート課題による思考力の評定 …



オンライン授業を実践するためには？



オンライン授業を実践するためには？



例えば，以下の形式①～⑤は，すべてオンライン授業に該当します。

形式① 知識の習得を目的とするオンデマンド授業

- テキストやスライドのPDFファイルをeラーニングシステムで公開
- 理解度を確認するために小テストを実施
- 教員が正答を提示，または採点結果を返却



オンライン授業を実践するためには？

形式② 知識の応用を目的とするオンデマンド授業

- テキストを読み上げた音声ファイルをeラーニングシステムで公開
- 掲示板で内容について議論

または

- 自分の意見をまとめたレポートを作成
- 教員がコメントやアドバイスを付与



オンライン授業を実践するためには？

形式③ 知識の応用を目的とするオンデマンド授業

- スライドに音声を記録した動画ファイルや，授業の様子を撮影した動画ファイルを**eラーニングシステム**で公開
 - 掲示板で内容について議論
- または
- 自分の意見をまとめたレポートを作成
 - 教員がコメントやアドバイスを付与



オンライン授業を実践するためには？

形式④ 知識の習得を目的とするリアルタイム授業

- 通常の講義内容を**Web会議システム**で配信
- 教員が問いかけ，学生が応答（または学生が問いかけ，教員が応答）
- 理解度を確認するために小テストを実施
- 教員が正答を提示，または採点結果を返却



オンライン授業を実践するためには？

形式⑤ 知識の応用を目的とするリアルタイム授業

- ゼミナール（演習）を**Web会議システム**で実施
- 学生がレジュメやスライドを使って発表
- 他の学生や教員と議論



オンライン授業を実践するためには？



自分の授業スタイルに合った形式で実践してみましょう。

まとめ

- リアルタイム授業とオンデマンド授業，どちらもオンライン授業
- 授業の目標，活動，評価をセットで考える
- eラーニングシステム，既存のWebサイトや動画教材を活用する

